

平成22年4月19日

## 日本ガス協会 市野会長 会見発言要旨

### ■ガス販売について

ガス販売は昨年(2010年)の11月以降、工業用分野を中心に回復傾向がみられる。今年度の本格的な景気・需要回復に期待したい。

### ■低炭素社会を実現する天然ガス

3月に地球温暖化対策基本法案が閣議決定され、「温室効果ガスの排出量がより少ないエネルギー源への転換」と「化石燃料の有効利用を促進」と明記されている。

また、「エネルギー基本計画」の見直しのなかで、天然ガスは「『低炭素社会へ移行するうえで、重要なエネルギー源である』として、産業部門の燃料転換、コージェネレーション利用等、ガスシフトを推進すべき」と位置づけられている。低炭素社会実現のために必要不可欠なエネルギーである天然ガスの普及拡大に向け、業界をあげた取り組みを進めていきたい。

### ■低炭素社会に向けた都市ガス業界の取り組み

低炭素社会の実現に向け、都市ガス業界は「天然ガスの安定供給」、「天然ガスへの燃料転換と高度利用」、「コージェネレーションと燃料電池の導入拡大による熱と電気の省エネ化」、「次世代エネルギーシステムであるスマートエネルギーネットワークの構築」の4つの取り組みを具体的に進めていく。

また、政府には、天然ガスを適切に位置づけていただくとともに、天然ガスの普及促進にあたって必要な各種支援をお願いしたい。

### ■2010年度 日本ガス協会 事業計画について

日本ガス協会は2010年度を「低炭素社会の実現に向けて、新たな成長のために行動する年」と位置づけ、「天然ガスの高度利用による低炭素社会への積極的貢献」、「ガスの信頼性の向上と快適性の提案」、「都市ガス事業の持続的な発展への取り組み」の3点について重点的に活動していく。

以上